

創傷ケアセンター

1. スタッフ構成

- 中川 浩志(総合診療センター長、創傷ケアセンター長、総合診療部主任部長、形成外科・顎顔面外科主任部長);創傷ケア委員会委員長
- 岡崎 秀規(皮膚科主任部長);創傷ケア委員会副委員長
<医局>
- 松立 吉弘、石野 憲太郎、青野 哲哉
<看護部>
- 松本 扶美香(看護長)、久保 美千代、和田 理枝、赤穂 こずえ、高市 沙知子、越智 文子
<薬剤部>
- 中平 真由美
<リハビリテーション部>
- 中迫 紀彦、武智 悠二
<栄養部>
- 山本 真吾
<事務局>
- 山口 雅彦、中川 裕美

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本褥瘡学会認定師	中川浩志
日本熱傷学会熱傷専門医	中川浩志
日本創傷外科学会専門医	中川浩志
日本看護協会皮膚・排泄ケア認定看護師	久保美千代、和田理枝
日本フットケア・足病医学会認定師	和田理枝

3. 運営方針

当院における創傷(動脈性疾患による創傷、糖尿病性創傷、静脈疾患による創傷、褥瘡、熱傷、凍傷、手術創など)の予防対策と早期治療の達成を図ります。この創傷対策指針に従い、創傷発生予防に対する体制を確立し、多職種協働のもと質の高い医療の提供を目指していきます。

4. 実績

■ 当院の褥瘡・MDRPU データ

	2014	2016	2018	2020	2022	参考※
褥瘡推定発生率	0.9%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%	1.20%
褥瘡有病率	2.2%	1.7%	1.6%	1.4%	1.4%	2.46%
MDRPU 推定発生率	0.5%	0.9%	0.9%	0.4%	0.5%	0.34%

※第4回日本褥瘡学会算出:一般病院(2016年)

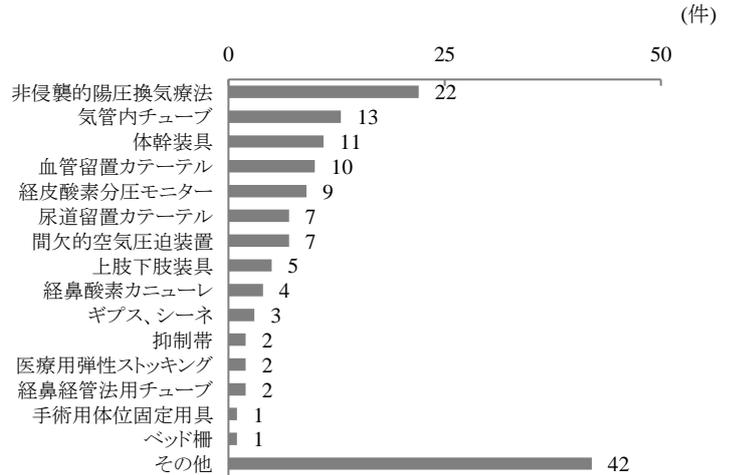
2022年1~12月の全褥瘡患者総数は405名で、そのうち褥瘡

発生患者は81名、医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)は141名でした。

当院の褥瘡発生部位としては、仙骨部25件、踵部14件、臀部13件、尾骨部8件でした。d1、d2の『浅い褥瘡』発生が83件(86%)と大半を占め、早期に発見、介入に繋げることができています。

今年度の取り組みでは、MDRPU発生予防のため創傷リンクスタッフのペア活動でマニュアルの周知・徹底を図りました。

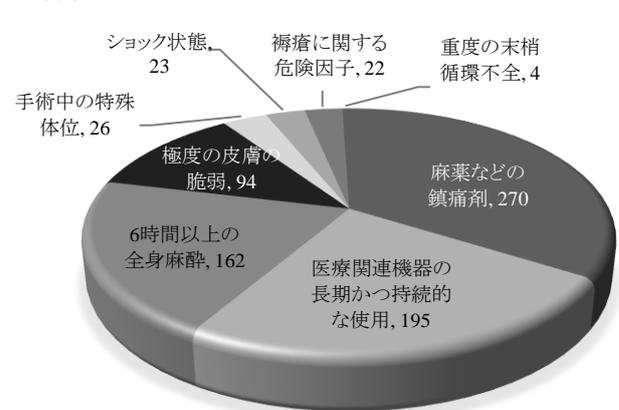
■ MDRPU 発生理由



■ 褥瘡保有者数・ハイリスク数

① 褥瘡リスクアセスメント実施数	3,210 件
② 褥瘡保有者	244 名
③ ②のうち院内発生の褥瘡を有する患者数	81 名
④ ②のうち真皮を超える褥瘡(Ⅲ度以上)を有する患者数	28 名
⑤ ④のうち院内発生の患者数	0 名
⑥ 褥瘡ハイリスクアセスメント数	811 名
⑦ ハイリスク患者特定数	528 名
⑧ 院内ハイリスク患者の褥瘡発生数(院外)	29 名
⑨ 院内ハイリスク患者の褥瘡発生数(院内)	7 名
⑩ ハイリスクラウンド件数	1,907 名

■ 褥瘡のハイリスク項目別件数



ハイリスクでの褥瘡発生は6件(ICU、救命HCU)でした。褥瘡発

生要因は鎮静管理中で徐圧不足、浮腫や湿潤状態での摩擦やずれでした。医療関連機器圧迫創傷の発生は13件で、ドレープ、経鼻挿管チューブ、NPPVで発生していました。

■ 創傷対策チームによる褥瘡・ハイリスク回診およびカンファレンス実施数

	2018	2019	2020	2021	2022
実施数	132	192	190	193	216

■ 創傷発生時のカンファレンス実施率

	2018	2019	2020	2021	2022
実施率	50%	54%	79%	81%	80%

2022年の創傷発生時のカンファレンス実施率は80%で、看護計画修正 62%、日々の観察記録 62%でした。今後もテンプレートを活用し、カンファレンス内容を記録に残すことができるように指導しています。

5. 2023年度目標

- (1) 深い褥瘡発生数を減少させ、褥瘡の治癒期間の短縮化を図る

褥瘡推定発生率と医療関連機器圧迫創傷(DRPU)推定発生率0.8%以下を維持します。

- (2) 創傷ケアリンクスタッフの教育の強化

創傷ケアリンクスタッフとしての基本的な創傷ケアの知識・技術を習得し、レベルアップを図り、自部署で指導ができる実践的な役割の中核となるリンクスタッフを育成します。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 和田理枝、松本扶美香、久保美千代、武智由美子、高市沙知子、山本益美、仙波章子. 当院の創傷ケア委員会による院内発生低減への取り組み. 第22回褥瘡学会中国四国地方会学術集会. 徳島 (2022.3.6)
- 中川浩志、土居美歩、石野憲太郎、田中克弥、和田理枝、武智由美子. 全身状態不良の多発褥瘡に対し多職種により改善、手術により治癒した1症例. 第24回日本褥瘡学会学術集会. 横浜 (2022.8.27-28)